

## 総合球技場に関するこれまでの経緯

## 【平成 26 年度】

○4 月

- ・県サッカー協会、県ラグビーフットボール協会、県アメリカンフットボール協会及びヴァンフォーレ山梨スポーツクラブの 4 団体が連名で知事に要望書提出

○9 月

- ・当該 4 団体が 10 万人近い署名を知事に提出

## 【平成 27 年度】

○平成 28 年 2 月定例県議会における知事所信

- ・総合球技場を整備することを前提として、検討委員会を設置し、施設の機能・規模、建設場所、運営方法等の検討に着手
- ・リニア環境未来都市における施設として、位置付け

## 【平成 28 年度】

○6 月～12 月

- ・総合球技場検討委員会による検討

○12 月

- ・検討委員会が報告書を知事に提出

サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールによる利用を主に想定

収容人数は「20,000 人程度」

建設候補地として、「リニア駅前」「小瀬スポーツ公園周辺」の 2 箇所を併記

※小瀬スポーツ公園は、リニア環境未来都市の対象エリアにあり、建設予定の  
新山梨環状道路（東部区間）の利用により、リニア駅から車で約 5 分のアクセス

## 【平成 28～29 年度】

- ◇ 上記報告を踏まえ、県では、両候補地について、立地、整備・運営、機能の 3 つの視点を中心に、メリットや課題を精査し、多面的な比較検討を行うとともに、地元の住民や企業の皆様の様々な御意見を聴取

○平成 29 年 7 月

- ・建設場所について、「小瀬スポーツ公園周辺」に総合球技場を建設することが適当と判断したことを知事が表明

○9 月

- ・検討委員会報告書の内容を基本とし、これに建設予定地などを加えた基本構想を策定

○12 月

- ・基本計画策定業務委託について、公募型プロポーザル方式の公告を実施
- ・基本計画を策定するにあたり、外部有識者から幅広く意見を聞くため、総合球技場基本計画検討委員会を設置